

令和6年度 武山支援学校評価報告書

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月25日実施)	総合評価(3月15日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの教育内容を見直し、キャリア教育の観点から、系統的に再編成し、教育課程の改善を図る。	①キャリア教育の観点から、学習単元を整理し、学びの連続性の構築に向けた教育課程の編成を推進する。  ②ICT 機器を有効に活用し、わかりやすく、主体的に学ぶ授業づくりを進める。	①各学部における教育課程を考慮した計画的、系統的な年間指導計画を作成し、「継続性・連続性」のある授業を実践する。  ②コミュニケーション支援や主体的な学びの手立てとして、より効果的にICT機器を活用する。	①より系統性を意識した年間指導計画を作成し活用したか。また、「継続性・連続性」を意識した授業実践ができたか。  ②ICT 機器活用の取組が活性化し児童・生徒の主体的な学びにつながったか。	①年間指導計画の書式を変更し、各学部の日課表の見直し等を行い、連続性のある学びにつながった。  ②一人1台端末の導入により、学習意欲の向上、情報機器活用が促進した。	①年間指導計画と個別教育計画の連携について、継続課題として取り組む。  ②ICT 機器の活用が推進されるように組織的に取り組む。	<保護者> 90%が良い評価 <学校運営協議会> 子どもたちに必要な学習を今後も継続して欲しい。  <保護者> 61%が良い評価 <学校運営協議会> ICTを活用した学習について、今後も模索して欲しい。	年間指導計画の書式を見直し、各教科の目標や学習内容を明確にすることができた。個別教育計画との関連性を持たせていく。  ICT機器を活用した授業を行い、わかりやすい授業を実践できた。児童・生徒が主体的に取り組む授業を模索していく。	個別教育計画の書式を変更して、年間指導計画との関連性を持たせ、継続性・連続性のある授業改善を進めていく。  情報教育が組織的に推進されるように担当部署を決めていく。
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	主体的に学び、課題を解決する力の獲得を目指し、児童・生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援に取り組むとともに「わかる」授業を行うための授業改善を行う。	①児童・生徒の実態を客観的に、またよりの確にとらえ、作成した個別教育計画を関係者間で共有し、個に応じた指導・支援を行う。  ②「わかる」と実感し、主体的に学ぶことのできる授業を実践する。	①フォーマルアセスメントを効果的に活用し、適切な目標設定や手立てに講じて指導・支援を実践し、結果を関係者間で共有する。  ②ICT機器を活用し、PDCAサイクルによる授業改善に取り組む。	①フォーマルアセスメント結果を理解し、目標設定や手立てを設定することができたか。  ②ICT機器を活用し、「わかる」授業を展開できたか。	①フォーマルアセスメントを実施し、学年・学部で共有し、学習の目標設定をすることができた。  ②分教室では一人1台端末と電子黒板の導入で、わかりやすい授業実践ができた。	①フォーマルアセスメントを効果的に活用できるように、計画的に取り組む。  ②学習用アプリケーションソフトの導入について検討が必要である。	<保護者> 90%が良い評価 <学校運営協議会> 子どもの視点にたって、学習内容を決めていけると良い。  <保護者> 67%が良い評価 <学校運営協議会> 今の時代の児童・生徒に合わせて、コミュニケーションツールの一つとなるように、ICTを活用した学習を進めると良い。	全児童生徒のフォーマルアセスメントを実施することができた。効果的な活用の仕方について検討していく。  導入された機器の活用方法について模索することができた。引き続き、有効な活用方法を探っていく。	保護者と関係者で共有して、指導・支援につなげていく。  学習用アプリケーションソフトの使用方法などの研修を行っていく。
3 進路指導・支援	地域での豊かな生活や「なりたい自分」を思い描き、自ら進路選択を実現できるような指導・支援を行う。	①キャリアパスポートを活用し、次のステージを想定して、児童・生徒が自信をもって取り組めるキャリア教育を実践する。  ②地域や関係機関と連携を図り、児童・生徒の社会参加に結び付く、指導支援を行う。	①キャリアパスポートを活用する中で、各学部で活用するための課題を整理し、改善していく。  ②地域資源を活用し、地域や関係機関の人と関わりを持つ機会を設定する。	①キャリアパスポートを活用し、有効な指導に結び付けることができたか。  ②地域の資源を活用した授業を設定したか。学校内外の人と関わりを持つ機会を設定できたか。	①キャリアパスポートは定着した取り組みになってきており、活動について振り返ることができた。  ②ゲストティーチャー等の地域資源を活用した取り組みを積極的に実施できた。	①キャリアパスポートの目的や意義などについて、保護者との共通理解をより深めていくように取り組む。  ②学部間の連続性を考え、系統的な取り組みを検討していく。	<保護者> 79%が良い評価 <学校運営協議会> 連絡帳、面談等でキャリアパスポートについてフィードバックできると良い。  <保護者> 83%が良い評価 <学校運営協議会> 地域との取り組みを大切にして学習できている。より多くのことに取り組んで欲しい。	キャリアパスポートについて、教員間では理解が深まっている。学習内容と保護者との共有について課題がある。  地域資源を活用した取り組みができた。児童・生徒の発達段階に応じた継続的な取り組みが必要である。	より効果的なキャリアパスポートについて検討し、関係者で共有していく。  学部間の連続性のある取り組みについて検討していく。
4 地域等との協働	共生社会の実現を目指し、地域との連携や相互資源活用を通して、共生社会の担い手となる人を育てる。	①相互資源活用により、地域の学校との交流や共同学習を定着・発展させ、共生社会の実現に向けて理解推進を図る。  ②地域や近隣施設と協働して地域防災力を強化する。	①地域や近隣の学校等、交流や共同学習を推進し、地域資源を活用した授業を設定する。  ②地域や近隣の学校と協力関係を結び、互いに支え合う仕組みを作る。	①交流等を通して、児童・生徒間の相互理解が進んだか。また、取り組みを地域や保護者に発信することができたか。  ②地域や近隣の学校と協力体制を結べたか。	①分教室の職業(農園芸)では学校と近隣農家の連携が始まり、地域資源を活用した学びができた。  ②交流及び共同学習の機会を計画的に実施でき、居住地交流数が増	①学校と近隣農家との連携での諸課題を整理していく必要がある。  ②交流の実施が難しかったケースについて、理解を促してい	<保護者> 78%が良い評価 <学校運営協議会> 将来の仕事など、いろいろな可能性を見つけて取り組むことができています。  <保護者> 71%が良い評価 <学校運営協議会>	地域資源を活用した取り組みができた。諸課題について解決していくことが必要である。  各学部ともに交流学習及び共同学習について、計画通りにほ	諸課題を洗い出し、一つ一つ解決の方法をていねいに検討していく。  関係者でねらいを共有して、地域や近隣学校に計画的

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月25日実施)	総合評価(3月15日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
						加した。	くように努める。	子どもを真ん中において、地域との協働が必要である。	ば実施できた。実施が難しかったケースについては、理解してもらえるように推進していく。	に発信していく。
5	学校管理 学校運営	<p>安全な環境を整備し、児童・生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを推進する。</p> <p>個の資質に大きく依存しない組織であり、人権を大切にしたい「学び合い」「支え合う」組織づくりを促進する。</p>	<p>①児童・生徒が自ら身を守る力や支援者としての力をつけられる防災教育に取り組む。</p> <p>②教職員一人ひとりが主体的に課題意識を持ち、人権意識や同僚性を高め、互いを支えあう。</p>	<p>①発達段階に応じた避難訓練等の防災教育を通して児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるよう指導・支援を行う。</p> <p>②「ヒヤリハット」等の報告を教職員間で共有するとともに改善方法やその後の取組について検証を行う。互いにコミュニケーションを大切に、業務の効率化を図り、互いの心身の変化に気づけるようにする。</p>	<p>①防災教育を通して児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるようになったか。</p> <p>②事故・不祥事防止に向け、自分事ととらえて行動することができたか。業務改善を図り、教員同士、コミュニケーションを図り、同僚性を高めることができたか。</p>	<p>①避難訓練、シェイクアウト訓練や防災教育等で、児童生徒が自ら身を守る行動が定着してきている。</p> <p>②毎月の不祥事防止研修に加えて、外部講師等を招いた研修を行い、自分事として課題意識を高めることができた。</p>	<p>①反省をもとに、引き続き災害時を想定した訓練や学習を積み重ねていく。</p> <p>②今後も研修会等を実施し、定期的に振り返るようにして、事故・不祥事防止に取り組んでいく。</p>	<p>&lt;保護者&gt; 88%が良い評価 &lt;学校運営協議会&gt; 地域と協力して、避難所の立ち上げ訓練ができるという。</p> <p>&lt;保護者&gt; 81%が良い評価 &lt;学校運営協議会&gt; 自分事として誰にでも起こりうることだと捉えていって欲しい。</p>	<p>災害時に自ら命を守る行動が身についてきている。災害時の近隣との協力体制について検討する必要がある。</p> <p>不祥事防止研修等を踏まえて、人権意識を高めることができた。自分事として捉えられるように継続して取り組んでいく。</p>	<p>災害時に地域と協力体制を検討する組織を作る。</p> <p>教職員一人ひとりが人権を大切にしたい教育活動、職場づくりを展開していく。</p>